

令和5年度決算状況

資料1

一般会計

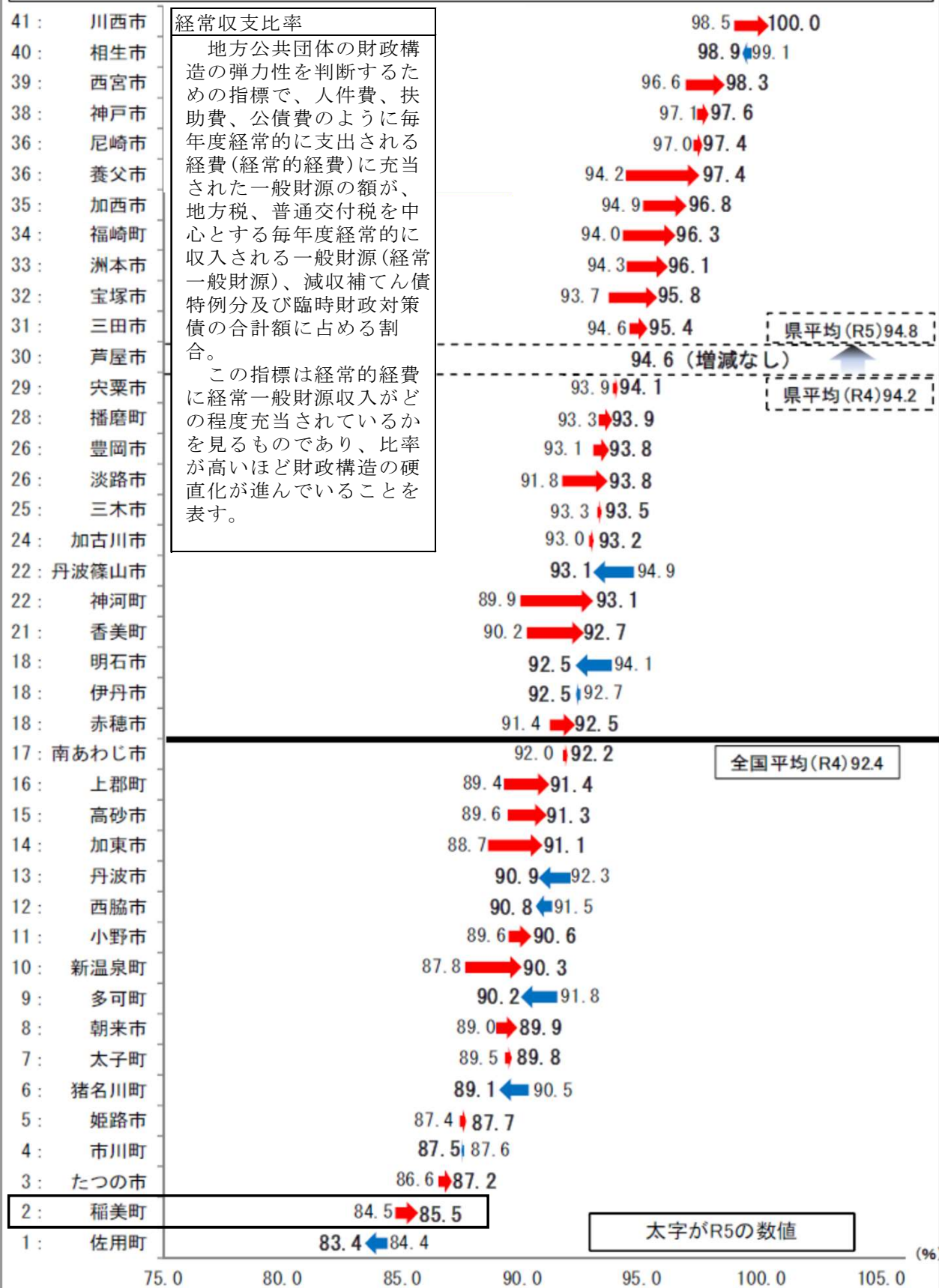
(単位：千円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	増 減 率 %	区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	増 減 率 %
1 歳 入 総 額 (A)	13,239,334	13,169,283	70,051	0.5	11 基 準 財 政 需 要 額	6,175,818	5,939,056	236,762	4.0
2 歳 出 総 額 (B)	12,288,084	12,298,659	△ 10,575	△ 0.1	12 基 準 財 政 収 入 額	3,981,631	4,080,173	△ 98,542	△ 2.4
3 差 引 (C) (A) - (B)	951,250	870,624	80,626	9.3	13 標 準 財 政 規 模	7,327,828	7,212,713	115,115	1.6
4 翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	155,080	115,685	39,395	34.1	14 財 政 力 指 数 (3ヶ年平均)	0.70	0.73	△ 0.03	△ 4.1
5 実 質 収 支 (E) (C) - (D)	796,170	754,939	41,231	5.5	15 実 質 収 支 比 率	10.9 %	10.5 %	0.4	3.8
6 単 年 度 収 支 (F)	41,231	△ 188,036	229,267	△ 121.9	16 経 常 収 支 比 率	85.5 %	84.5 %	1.0	1.2
7 積 立 金 (G)	162,520	440,650	△ 278,130	△ 63.1	17 財 政 調 整 基 金 現 在 高	5,295,933	5,133,413	162,520	3.2
8 繰 上 償 還 金 (H)	0	0	0	0.0	18 減 債 基 金 現 在 高	631,554	688,327	△ 56,773	△ 8.2
9 積 立 金 取 崩 し 額 (I)	0	0	0	0.0	19 その他特定目的基金残高	662,729	970,933	△ 308,204	△ 31.7
10 実 質 単 年 度 収 支 (J) (F) + (G) + (H) - (I)	203,751	252,614	△ 48,863	△ 19.3	20 地 方 債 現 在 高	9,810,807	10,446,195	△ 635,388	△ 6.1

※表示単位未満端数処理の関係で、積み上げと合計が一致しない場合がある

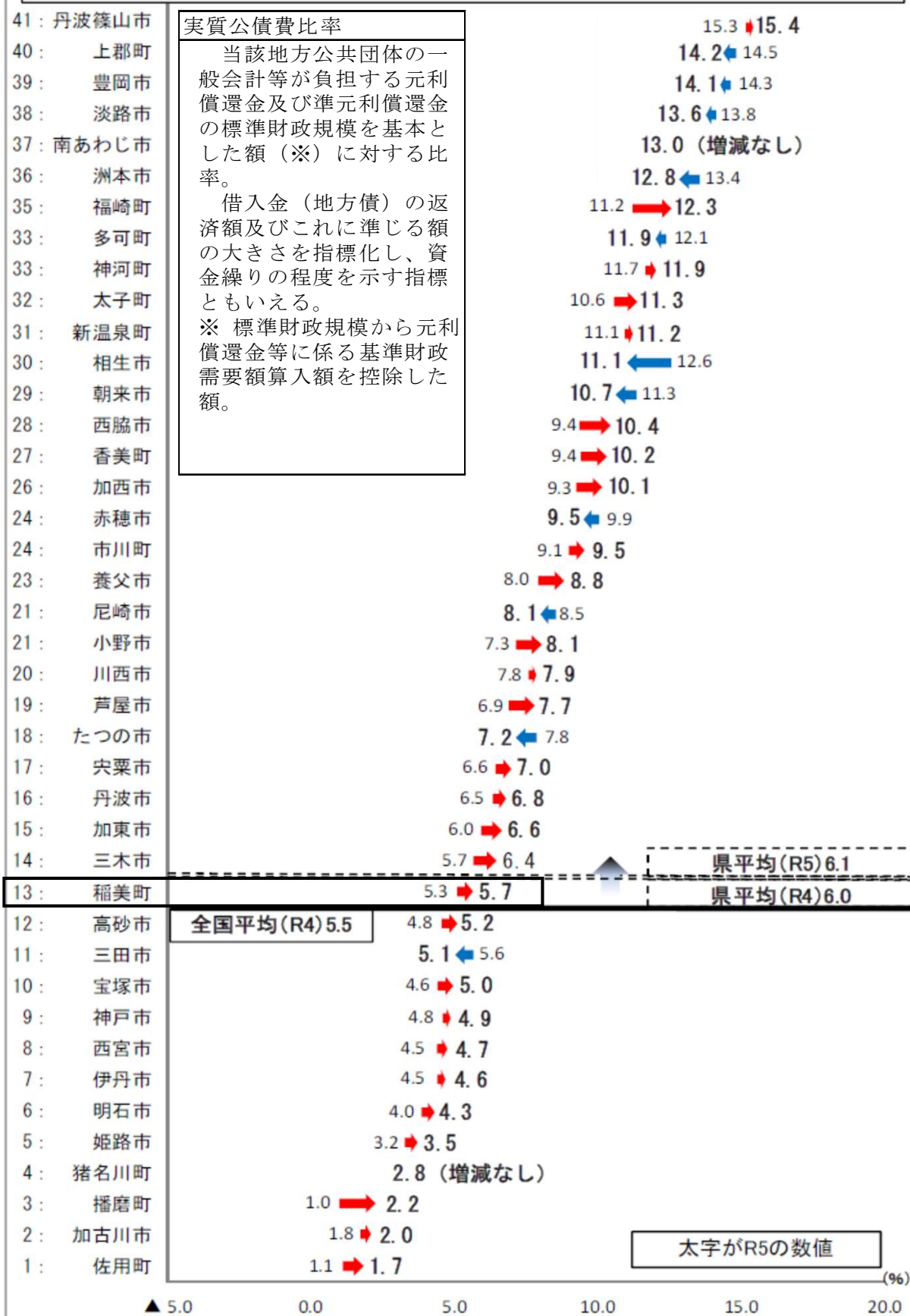
経常収支比率の対前年度比較

- 前年度から比率が増加したのは30団体、比率が減少したのは10団体、1団体が増減なし。
- 最も減少したのは、市では丹波篠山市(▲1.8)、町では多可町(▲1.6)。
- 最も増加したのは、市では養父市(+3.2)、町では神河町(+3.2)。



実質公債費比率の対前年度比較

- 前年度から比率が増加したのは28団体、比率が減少したのは11団体、2団体が増減なし。
- 最も増加したのは、市では西脇市(+1.0)、町では播磨町(+1.2)。
- 最も減少したのは、市では相生市(▲1.5)、町では上郡町(▲0.3)。



実質公債費比率

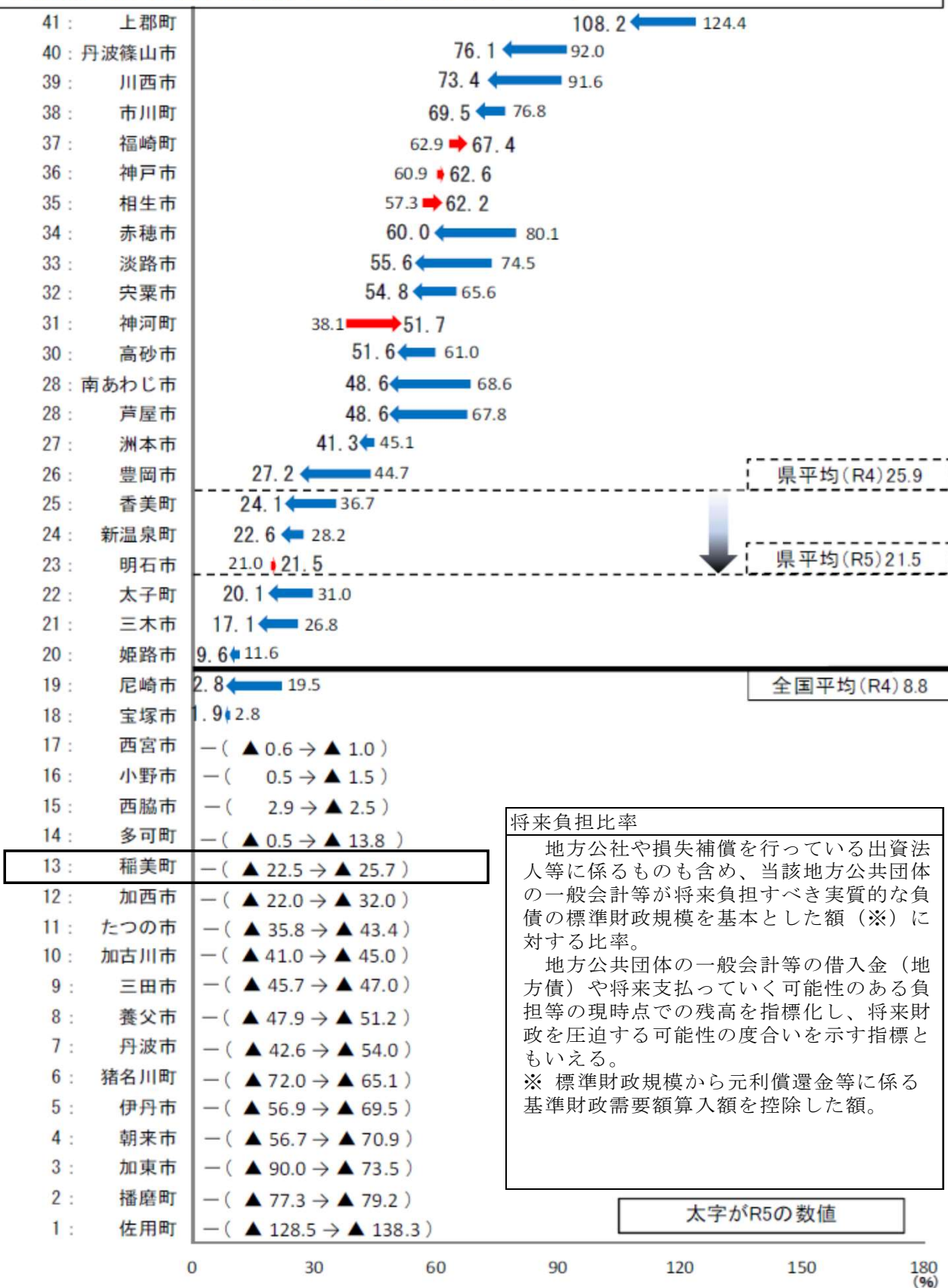
当該地方公共団体の一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額(※)に対する比率。

借入金(地方債)の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示す指標ともいえる。

※ 標準財政規模から元利償還金等に係る基準財政需要額算入額を控除した額。

将来負担比率の対前年度比較

- 前年度から比率が増加したのは7団体、比率が減少したのは34団体。
- 最も増加したのは、市では相生市(+4.9)、町では神河町(+13.6)。
- 最も減少したのは、市では赤穂市(▲20.1)、町では上郡町(▲16.2)。



令和5年ラスパイレース指数の対前年比較

- 前年から指数が減少したのは25団体、増加したのは13団体
- 100以上の団体は、前年比△1団体の8団体
- 最も増加したのは川西市(+1.8)

